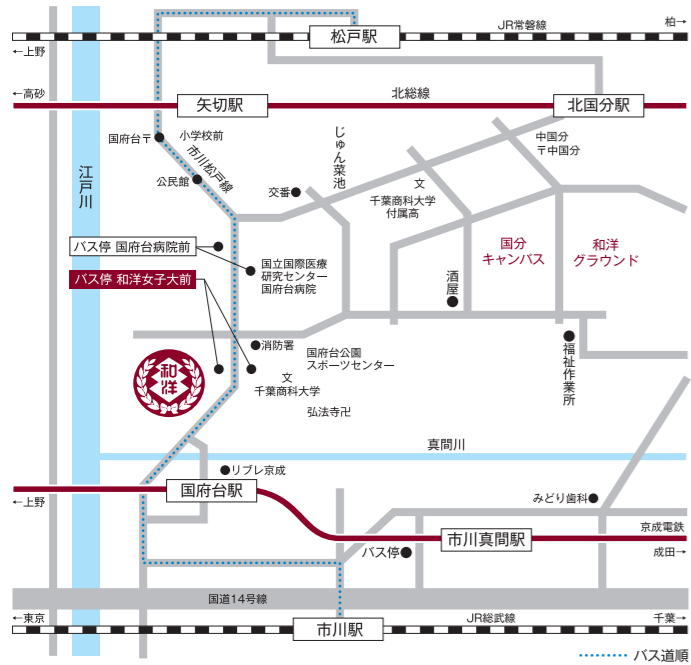


ACCESS

●内数字は各路線最寄駅までの所要時間(分)



【路線バス】(松11系統)

- JR「市川駅」北口 京成バス①番(松戸営業所・松戸駅行き)
約10分「和洋女子大前」下車
- JR「松戸駅」西口 京成バス①番(市川駅行き)
約20分「和洋女子大前」下車
- 北総線「矢切駅」京成バス(市川駅行き)
約7分「和洋女子大前」下車

【徒歩】

- 京成本線「国府台駅」
徒歩約9分

学校説明会 要予約

- 6. 3 (土) 14:00~
- 9.10 (日) 9:30~
- 10.28(土) 14:00~
- 12. 9 (土) 14:00~
- 1. 6 (土) 10:00~

オープンスクール 要予約

- 8.26(土) 9:30~
- 9.10 (日) 9:30~

※1当日は全体説明会をはじめ、様々な体験講座を開催します。
※感染症対策のため、日時・内容が変更になることがあります。最新の情報は本校のホームページでご確認ください。
※詳しくはHPをご覧ください。



**WAYO
KONODAI**
Girls' Junior High School



2024
school guide

和洋国府台女子中学校

〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1

TEL.047-371-1120 FAX.047-371-1128

<https://www.wayokonodai.ed.jp>



凜として生きる

生徒ひとりひとりに寄添う丁寧な教育

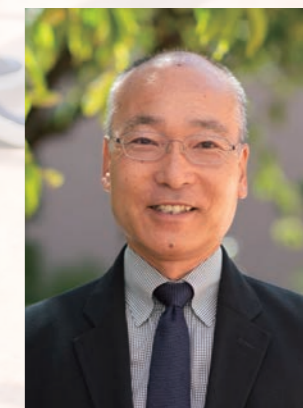
- 主体的に行動し学ぶ力と人間力を向上 サイエンス教育・日本文化
- グローバルに羽ばたくための独自の英語教育
- 知的探究心を刺激する学習サポート体制
- 個性を尊重し多様なキャリア・進路をサポート

女性の自立

- 一、周囲に対する思いやりと物事に挑戦する逞しさをもつ
- 二、自らを律し、礼儀正しく、品格をもつ
- 三、文化を尊重し、豊かな表現力をもつ

世界のあらゆるものがICTによって自分とつながる社会「Society5.0」では、今までの常識が通用せず、果敢にチャレンジし、振り返りができる柔軟な思考を身につける必要があります。私たちは「凜として生きる」という教育理念により、いかなる状況でも自分の信念を貫いて行動できる姿勢を養ってきました。伝統的に行われている日本文化の学びは、「美しさ」の価値観を育て、「凜として生きる」ための強い心を育てます。また、生徒会活動や高校の探究学習WIQの中で、人の意見を尊重しつつ、自分の意志と考えで行動することができる、自立した女性を育成してきました。意見を出し合い、それをまとめ、発表する活動は、社会に出てからも重要な、自立した態度を備えることにつながります。今後さらに、企業や和洋女子大学と連携した教育を推し進め、社会に出てからの道筋を描きやすくしていきます。「特進コース」では自立した学習計画を立てることで、難関大学にも入学できる十分な力と精神力が養われます。幅広い選択肢を整え、私たちは生徒たちの多様な夢を実現させます。

和洋国府台女子中学校 校長 宮崎 康

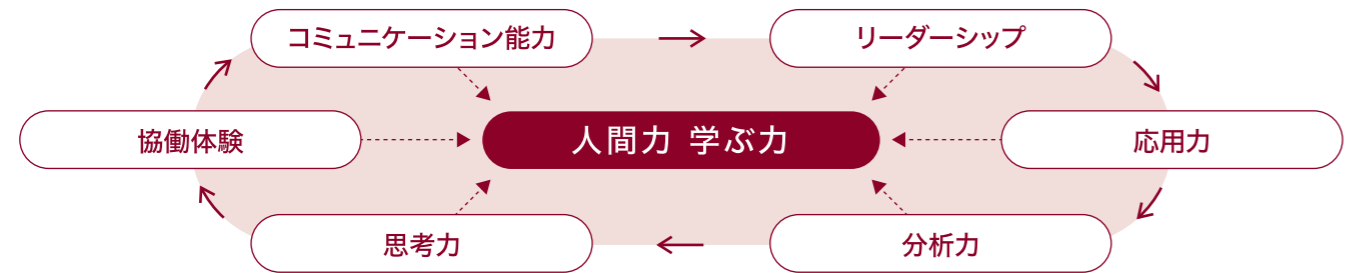


主体的に行動し 学ぶ力と人間力を向上

Wayo's Education

125年の歴史の中で、日本人としての品格を大切にしながら、主体的に行動し、対話によってさらに深く学ぶための女子教育を実践してきました。変化する社会に柔軟に対応し、自分らしい未来の選択を実現させるための人間力を、6年間の充実した学校生活の中で培います。

1 協働の中で考え、分析し、発表する授業を行い、文部科学省が推進する「主体的・対話的で深い学び」を実現させています。教科を横断してICTを活用、自己管理能力も養います。



 <p>グループワーク</p> <p>生徒主体で課題に取り組み、問題を解決。</p>	 <p>プレゼンテーション</p> <p>論理性やデザイン力など、“伝える力”を発揮。</p>	 <p>ディスカッション</p> <p>他者の意見に耳を傾け、自分の考えを発表。</p>
 <p>心を育む朝読書</p> <p>毎朝10分間の読書で見識を広め、思考を深化。</p>	 <p>学習ノート</p> <p>定期テストに向け、自分の計画や改善点を確認。</p>	 <p>自己管理能力の養成</p> <p>手帳を活用し、生活や学習のリズムを調整。</p>

五感を駆使するサイエンス教育

中学3年間での実験・観察は、約100項目。科学を実体験から学ぶことで、問題を自ら発見して解決する力を養います。フィールドワークを体験し、データ分析・レポート作成・プレゼンテーションも体得、生活に結びついた探究の中で自然の本質に迫ることで、「生きた学力」が得られます。



アカデミックスキルとICT

全教室に電子黒板を設置。一人が1台PCを持ち、授業に参加します。調べ学習で情報を取捨選択する眼を養い、日々の学習の中でグループワークを実践。探究型の学習など活用の場を大きく広げ、ICTを思考を深めるツールとして使いこなしています。



2 時代を超えて通用する教養と品格を、「日本文化」の習得を通して身につけます。グローバル社会において不可欠な、日本人としての文化基盤やアイデンティティを育みます。



礼法
礼儀作法、正しい食事作法、その場に適したふるまいなどを学びます。

邦楽
箏の奏法を習得しつ和の精神に触れ、伝統芸能の真髄を理解します。

茶道
校内の本格的な和室にて、茶道の正しい所作を一通り習得します。伝統の心を学びつつ、思いやりの精神や日本女性としての素養を身につけます。

書写
正しく美しい文字を書く技能を習得するとともに、鑑賞する力を養います。

華道
日本の伝統美を理解し、教室に花を飾って身の回りを整えることも学びます。

中学3年生 Interview

—— 日本文化の授業で学んだ中で、特に印象に残っていることを教えてください。

これまでに、華道や茶道を学びました。どれも私にとっては初めての経験でした。華道では皆同じ花を生けますが、高さや刺し方の角度などを工夫することで、自分の個性が表現できます。茶道では、あいさつや座り方、目線の向け方など基本のお作法を教わり、機会があればまた自分でお茶をたててみたいと思いました。高校でも日本文化についての様々な講座があり、今からとても楽しみにしています。

—— 先生から教えていただいたことを、どのように生かしていきたいと思いますか？

日本文化の先生方は、とても優しくフレンドリーですが、守るべきことは厳しく指導してくださり、やるべきことはしっかりやらなければならないのだと学びました。私は中学で生徒会会長を務めていますが、責任ある役割を果たすうえで、先生方から教えていただいたことを生かしていきたいと考えています。



グローバルに羽ばたくための 独自の英語教育

Global Education

世界の人々と対話するための生きた英語力を身につけ、異文化への理解を育てることが、和洋のグローバル教育の目標です。独自の英語教育メソッド「和洋ラウンドシステム」を軸に、英語研修や海外文化交流を行い、幅広い視野と発信力を磨いていきます。

和洋ラウンドシステム

子どもが言語を習得するときのように聞くことから始め、様々なアプローチにより、コミュニケーションに役立つ実践的な英語を身につけます。

和洋ラウンドシステムのポイント



自然な言語習得の過程をもとにリスニングから学習を進めることにより、外国語である英語の文章を読むことへの抵抗感を減らします。



単語・文法の学習を細分化し、ステップごとに行うことで、より深い定着を促します。



既習の単語・文法を用いる表現活動を行うことで、実際に英語を「使う」喜びを感じます。



教科書の各単元を異なるアプローチから時間をおいて繰り返し扱うことで、新たな知識に触れる機会を増やし、英語の習得を促します。



自分の日常生活や社会における時事問題を英語で扱うことで知的好奇心を促し、英語を学ぶ意欲を向上させます。

インターナショナル教員による生きた英語の授業

アメリカ、フィリピン、カナダ、インド、ロシアなど、様々な国から来たインターナショナル教員が、英会話の授業を担当します。1クラスを2〜3分割して指導。それぞれの教員の出身国の文化や国際社会の多様性についての理解も深めます。

和洋のインターナショナル教員



中学生 Interview

「和洋ラウンドシステム」で英語を学び、どのような力が伸びましたか？

教科書の内容について、まず音を聞き、その音をまねしながら音読を繰り返す練習をしたことで、スピーキング力が伸びたように思います。リスニング力も上がってきて、車で流れている英語の案内放送を聞き取ることができるようになりました。これからは、外国の人が普段普通に話している、速度のある英語も聞き取れるようになりたいと思います。授業では、カナダやアメリカ、フィリピンなど、様々な国から来ている外国人の先生が英会話を教えてくれています。クリスマスやハロウィンなど、海外の季節ごとのイベントや国による習慣の違いなどにも触れる機会があります。言葉を学ぶだけでなく、外国の文化を理解することもでき、自分の興味や関心が

広がっていきました。皆でゲームをする機会もあって、笑顔の絶えない、楽しい授業になっています。近くの席の人と英語で会話練習をするときには、お互いに普段家で何をしているかということや、趣味の話などをしています。英語を使ってクラスメートと打ち解けることができるのも、英語の授業が楽しめる理由の一つです。和洋には、いろいろな海外研修や留学の機会があるので、これからもっと努力して英語力を磨き、いずれ留学してみたいという気持ちも生まれてきました。



中学1年生

英語研修・留学プログラム

佐倉セミナーハウスでの英語宿泊研修に加え、オーストラリアやカナダ、ヨーロッパなどでの、海外研修・留学の機会を用意しています。現地の人々とコミュニケーションを取ることで、英語学習への意欲がさらに高まります。また、各種の異文化体験によって日本と外国との違いに気づき、自分の意見や考えを英語で発信することの大切さを理解できるようになります。

	対象学年	実施期間	内容
英語宿泊研修	中1～高1	冬休み 3日間	佐倉セミナーハウスで英語漬け体験
海外文化研修	中3～高2	春休み	隔年で英国とイタリアで実施
オーストラリア語学研修	高2	夏休み 2週間 短期留学 2ヵ月	姉妹校の名門女子校での語学研修
カナダ留学	高1	1月下旬から1年間	※単位取得可



※社会情勢により数年前の写真を使用しております

「使える」英語を実感してより深い学びにつなげる英語研修

多くの和洋生が英語を学ぶ動機を持つのは、成功体験を重ねていくからです。授業内での成功体験だけにとどまらず、学校外でも自信につながるきっかけを作るためTOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)での研修を行っています。いきなり海外研修などとなるとハードルも高く感じられますが、本校からわずか1時間程でアクセスできる場所で、海外旅行や海外留学さながらの体験ができると、生徒からも好評の企画です。学校での学びが実社会で「使える」ことを実感し、この経験からより深い学びの必要性を感じ、生徒にとって学びの好循環を作るきっかけになります。



異文化に触れ、 向上心を刺激する海外文化研修

中3～高2の希望者を対象に、春休みに英国とイタリアを隔年で訪問。英国では、オックスフォード大学でのティータイムなど英国文化に触れ、イタリアでは各地の世界遺産や美術館を見学します。インターナショナル教員による事前学習が、研修をさらに充実させています。

※変更になる場合があります。

国内で海外のような体験をする英語宿泊研修

全学年の希望者を対象に、冬休みに佐倉セミナーハウスで実施。オーストラリアの姉妹校から招いたネイティブ教員や卒業生のアシスタントと共に、3日間英語漬けで過ごします。クラスを習熟度別に分けてレッスンをを行い、普段の会話も英語。オーストラリアの文化や風習、歌や踊り、動物、食べ物などについての知識を得ることもできる、国際理解を深めるための機会です。

知的探究心を刺激する 学習サポート体制

In Support of Studies

自学自習の定着と密な学習フォロー

「学ぶ楽しさ」を知る機会を設けることで学習意欲を高め、自学自習の姿勢を育みます。「ハイレベル講座」では伸びる生徒を後押しし、指名制の補習や夏期講座で「わからない」を解消。中学時代に必要な基礎学力を固め、進路選択を確実なものにしていきます。

フォロー体制1 さらに上を目指す力をつける！ **ハイレベル講座**

中学3年生向けに、英語・数学の特別講座を放課後に実施。普段の授業よりやや高度な内容を指導することで、意欲の高い生徒のやる気を刺激します。今ある学力を高め、さらにそれを定着させることで、和洋国府台女子高校「特進コース」を目指す、強い目的意識を持った生徒を応援します。



フォロー体制2 個性と目的に合わせて伸ばす！ **STEP UP システム**

英数の資格試験対策や、生徒の興味関心を引き出す夏期講座など、多彩な講座により生徒の伸びを支援しています。目的に合わせて選ぶことで、自分の得意分野を伸ばす機会ともなります。希望者には朝夕の補習も行い、高校での学びにつながる学力を養成していきます。

- 夏期にインターナショナル教員による「英語講座」
- 応用力と実践力を養う「夏期講座」
- 学期ごとに「希望補習」を朝夕に実施

夏期講座 (2022年度実施の一例)	国語	高校入試国語	数学	中1・中2・中3発展問題にチャレンジ
	英語	プレゼンテーション講座	英語	英検2級・準2級・3級対策
			理科	臨海実習

フォロー体制3 「わからない」を残さない！ **FOLLOW UP システム**

英語や数学でつまずきが見られる生徒を対象に、追試や補習を実施します。授業→自習→試験→振り返りの反復で「わかる」楽しさを実感。自己解決の成果を出しています。

- 英数では必要に応じて補習で基本の確認と習得
- 期末試験前に復習
- 国語は朝の「追試・補講」で基本の確認
- 授業→自習→試験→振り返りの反復学習
- 国英数は単元ごとに小テストで弱点を確認



フォロー体制4 数学でつまずかないための！ **リメディアル講座**

数学でつまずかないためには、まず苦手意識の克服が大切。中学1年生では入学直後から、小学校での算数をしっかり復習する「リメディアル講座」を実施し、わからないことをなくして自信をつけます。数学的な思考力を習得する土台が固まり、スムーズな自己学習につながります。

**学ぶ意欲を
後押しする自習環境** 自習室は、毎朝7時～8時20分と放課後に開放。環境が整うことで、学習サイクルが定着します。各教科の教員が生徒の質問に答え、個別に課題を出す職員室前の質問スペースも活用されています。

中学3年生 Interview

— 「ハイレベル講座」を受講したいと思うようになった理由を教えてください。

中1のときから、高校の「特進コース」に憧れていました。高い目標を持ち、クラスメートと一緒にがんばれる環境だと思ったからです。2年生のときに「ハイレベル講座」の存在を知り、「特進コース」を目指すからにはぜひ受講したいと考え、選抜試験を経て受講生の仲間入りをすることができました。今は、英語と数学をそれぞれ週に1回受講しています。講座の内容はやはり難易度が高く、問題が解けなくて悔しい思いをすることもありますが、その分、普段の勉強に力が入るようになりました。

— 熱心に勉強を続けて、将来はどんな目標を達成したいと思いますか？

小学生のときから、社会の授業で習う公民が好きで、将来は法律関係の仕事がしたいと思うようになりました。大学は法学部に進み、裁判所勤務の仕事に就くことができたいと思っています。社会や英語など文系の科目は得意なのですが、数学や理科など理系の科目はまだ弱いので、高校で特進コースに進んだら、3年間しっかり勉強して理系科目の成績も伸ばしていきたいと考えています。和洋では先生と生徒の距離がとても近く、どの教科の先生にも気軽に質問することができ、先生方は親身になって細かいことまで丁寧に教えてくれます。とても勉強しやすく、自分の目指すことを達成しやすい環境があると感じています。

自分の目標を
達成できる環境です。



「自ら学ぶ」力を育てる

教務部 山口真理子

本校では、生徒が高いレベルの学習を目指すことができるサポート体制を整えています。そのためにも、生徒たちの6年後の進路目標を実現するため、中学での基礎学習を重視しています。英語・数学・国語では、単元テストを短期サイクルで実施し、ICTを利用した課題配信で、学習の定着を図ります。そして、定期考査を軸に生徒一人ひとりが自らの学習サイクルを構築できるよう指導します。理科では、数多くの実験・実習を行い、観察力や考察力を身につけます。社会では、租税教室や裁判傍聴を実施し、社会のしくみの理解をより深めています。両教科とも、ICTを利用したレポート作成やプレゼンテーション、グループワークを取り入れ、高校の学習に必要な技術の取得を目指します。3年では、1・2年で修得した基礎力を土台に、高校進学を見据えたハイレベルな学習に取り組みます。英検2・準2級対策講座や英語・数学のハイレベル講座では、高校に通じる応用力をつける指導を行っています。



個性を尊重し

多様なキャリア・進路をサポート

For the Future

自分を生かせる未来を見出すキャリア・進路教育

人間関係や社会とのかかわりを形成し、自己管理・課題対応能力を高めるという大きな目標に向け、6年間を通し、段階的に発展するキャリア教育を実践。一人ひとりの個性や価値観に適した未来を共に考え、社会に貢献するために自分を磨く過程を指導します。中学時代は、基本的な人間関係を構築して自己への理解を深め、自分を生かせる人生や職業観を考えます。高校時代は、自己実現のための進路選択を行い、大学選びや合格に必要な勉強を自主的に進めます。将来への自信と使命感を育む教育を、探究的なプログラムにより実現させています。

真の学力を培い大学受験へ

大学入試改革のため、入学試験の形式や内容が変動しつつありますが、和洋では6年間の一貫教育により、様々な局面に対応可能な揺るぎない真の学力を培います。基礎学力を定着させつつ、さらに上を目指す生徒の学力を引き上げ、充実した演習科目や各種校内講座で応用力に磨きをかけていきます。

文理に多彩な学校推薦型選抜指定校制

大学の選抜方式が多様化し、学校推薦型選抜が重要な位置を占めるようになりました。この制度では、高校3年間の学業はもちろん部活動や課外活動の実績が重視されることから、学校推薦型選抜を目指すことが学校生活の充実にもつながります。充実した教育を備える和洋では、文系・理系ともに多くの大学より指定校の枠をいただいています。

学校推薦型選抜指定校制大学一例(2023年度入試)

文系・芸術			理系		
・ 学習院大学(文)	・ 獨協大学(外国語・法)	・ 学習院女子大学(国際文化)	・ 東京理科大学(創成理工)	・ 東京農業大学	・ 東京女子医科大学(看護)
・ 法政大学(社・経)	・ 専修大学(経営)	・ 白百合女子大学	・ 学習院大学(理)	(応用生物科学他)	・ 帝京大学(医療技術)
・ 國學院大学(文・経)	・ 日本大学(経)	(文・人間総合)	・ 千葉工業大学	・ 芝浦工業大学	・ 昭和薬科大学(薬)
・ 成蹊大学(文・法・経営)	・ 神田外語大学(外国語)	・ 女子栄養大学(栄養)	(工・創造工・先進工・情報科学・社会システム科学)	(工・システム理工・デザイン工)	
・ 成城大学(文芸)	・ 津田塾大学(学芸)	・ 聖心女子大学(現代教養)	・ 東京都市大学	・ 成蹊大学(理工)	
・ 明治学院大学	・ 東京女子大学(現代教養)	・ 武蔵野音楽大学(音楽)	(都市生活・メディア情報・環境・人間科学)	・ 東邦大学(理・健康科学・薬)	
(文・法・経・社)	・ 日本女子大学	・ 女子美術大学(芸術)	・ 東京電機大学	・ 日本大学(生産工・薬)	
・ 武蔵大学(人文)	(文・人間社会・家政)		(工・理工・システムデザイン・未来科学)	・ 北里大学(看護)	

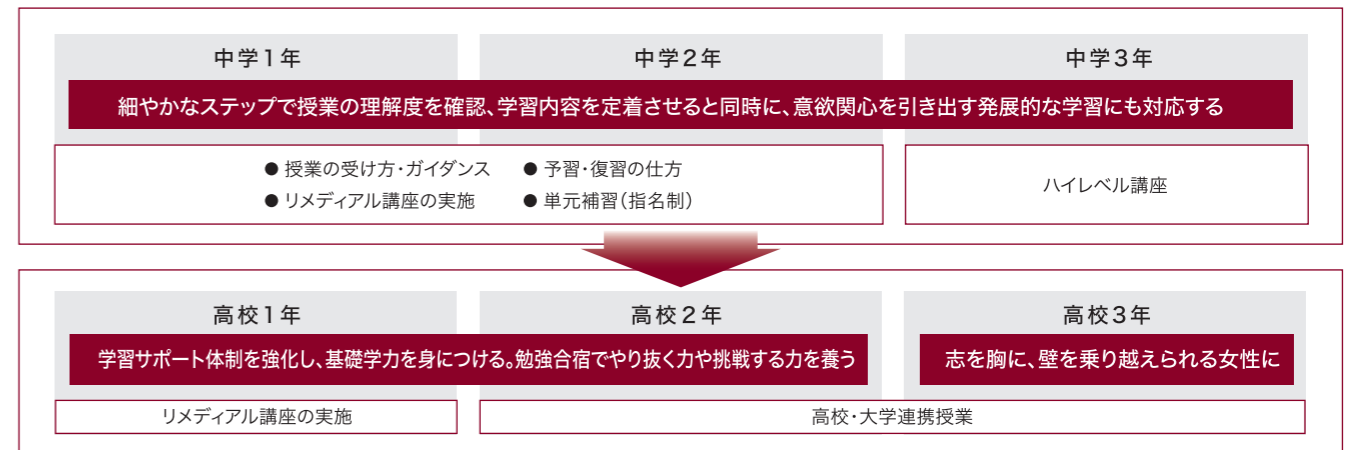
生徒一人ひとりに寄り添うきめ細やかな指導と視野を広げるための多彩なプログラム

	中学1年	中学2年	中学3年
4月	● 個人面談週間・保護者会 【社会の実際を知る】 企業から講師を招き、身近なところから社会を学ぶ。	● 個人面談週間・保護者会 6月実施 職業調べ・卒業生のお話を聞こう	● 個人面談週間・保護者会 様々な職業の方にお越しいただき、質問やインタビューを通して、働く人の生の声を聞く。「働く」とはどのようなことを考え、自身の進路を考えるきっかけとする。
6月	● 個人面談週間	● 個人面談週間	● 個人面談週間 ● 進学説明会
7月	7月実施 企業との授業	【仕事への理解を深める】 卒業生の話から、仕事の実際についての知識を得る。	7月実施 進路講演会
夏休み	● 保護者面談	● 保護者面談	● 保護者面談 ● 職場訪問
10月	● 保護者会 10月実施 秋の催し	● 保護者会 12月実施 職業インタビュー	● 保護者会 ● 個人面談 ● 進路選択にむけて ● 進路決定前の面談 9月実施 起業体験 日本取引所グループ主催の起業プログラムを学園祭にて実施。クラスで株式会社を設立し、商品の仕入れ・販売管理を行う。
11月	【自分と未来dayの実施】 自身のコンピテンシーを測定した結果をもとに、学年全体で将来のことを考えるワークショップの実施。	身近な人にインタビューを実施、結果をまとめて発表を行う。	● 進路選択 ● 志望理由書作成

※主なプログラム(年度によって内容は変わります)

将来を見据えた進路教育

中学で各教科の授業内容をしっかり定着させることで、自分から進んで学習する姿勢が身につきます。高校では基礎学力を伸ばしつつ高大連携授業など多彩な取り組みを導入し、卒業後の進路をより具体的にイメージしながら、明確な目標を持って学習に励みます。



2022年度 主な合格実績

筑波大学(1)	明治大学(1)	東洋大学(1)	武蔵野大学(11)	芝浦工業大学(2)	日本女子大学(3)
東京農工大(1)	法政大学(2)	専修大学(3)	北里大学(1)	千葉工業大学(13)	昭和女子大学(3)
早稲田大学(1)	成蹊大学(4)	獨協大学(4)	順天堂大学(3)	東京電機大学(1)	大妻女子大学(4)
上智大学(1)	成城大学(1)	國學院大学(1)	国際医療福祉大学(1)	東京農業大学(3)	共立女子大学(10)
東京理科大学(1)	明治学院大学(2)	二松学舎大学(1)	東京医療保健大学(3)	東邦大学(3)	白百合女子大学(2)
立教大学(2)	日本大学(2)	神田外語大学(1)	医療創生大学(2)	東京都市大学(1)	和洋女子大学(57)

※()は人数

着実に展開する 6年間の一貫教育

Consistent Education

教員チームによる組織的な教育指導を推進

多面的な教育改革を行うため、教員による「新教育研究部」を設置。大学のアカデミックスキルを生かした探究型学習、教科横断型授業、ICT活用などに取り組んでいます。高校「特進コース」の受験指導教員チームは、一人ひとりに最適な進路対策を実現させます。

	「人間関係をつくる」 中学1年	「自分を見つめる」 中学2年	「構想力を育てる」 中学3年	「自らの可能性を探る」 高校1年	「社会に目を向ける」 高校2年	「進路の決定」 高校3年
教科教育	国語 <ul style="list-style-type: none"> 読書習慣の確立・拡充 ● 基本語彙の習得 辞書の徹底活用 ● 漢字2,000字習得 		<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力の育成 多種多様な文章を読解 ● 意見文・新聞レポート・プレゼンテーションなど様々な発表形態の実習 		<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力の深化 様々な入試形態に対応するための演習 	
	社会 <ul style="list-style-type: none"> 社会および社会科への興味・関心の育成 夏期校外見学会 ● 身近な地域調査 ● 社会問題調査 ● 租税教室 ● 裁判傍聴 			<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の育成 入試対策演習 		
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的学力・知識の習得 ● 思考・判断・表現力の育成 小テスト、計算力・表現力問題、グループワーク 		<ul style="list-style-type: none"> 主体的、協働的な問題解決能力の育成 小テスト、思考力・表現力問題、グループワーク 		<ul style="list-style-type: none"> 文理それぞれに応じた知識と思考力の習得 入試問題演習 	
	理科 <ul style="list-style-type: none"> 授業内・課外での多彩で充実した実験・実習(希望者対象 臨海実験・天体観測・高大連携実験等) 理科好きの育成 科学的思考力、表現力の育成 希望進路に向けて受験指導 					
	英語 <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々とコミュニケーションがとれる英語力(4技能)を身につけるとともに、異文化への理解をはぐくむ クラスを分割したインターナショナル教員による授業 ● 和洋ラウンドシステム インターナショナル教員授業 ● アウトプット活動 ● 大学入試に対応する演習 					
	日本の伝統文化の基礎を学びつつ、探究学習と読書で思考力・問題解決力を養う					
その他	礼法・華道	邦楽	茶道	礼法	平和教育・主権者教育	茶道
				企業探究	社会課題探究・探究型読書	個人研究
	読書の基礎トレーニング	推薦図書250冊のリストから、毎朝10分間読書を楽しむ		読書の基礎	推薦図書250冊のリストから、毎朝10分間読書を楽しむ	

和洋女子大学

充実の学びで、社会で輝く女性に

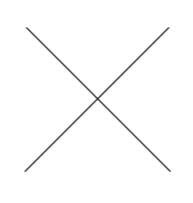
社会で活躍する自立した女性を育成する和洋女子大学。中高大連携で高度な学びに刺激を受ける機会が多く、和洋女子大学への進学を目指す場合は高校1年生から大学の講義を受講できる和洋コース(卒業単位に認定)も設置しており、大学ではゆとりを持って留学や社会貢献、資格取得などに取り組むことができ、充実した学生生活を送ることができます。例年、約2割の生徒が和洋女子大学に進学しています。

人文学部	国際学部
日本文学文化学科 <small>日本文学専攻 普通専攻 文化芸術専攻</small>	英語コミュニケーション学科
心理学科	国際学科
こども発達学科	
家政学部	看護学部
服飾造形学科	看護学科
健康栄養学科	
家政福祉学科	



和洋女子教育プログラム

日本女性としての立ち居振る舞いや美意識を身につけるため、礼儀作法や社会人としてのマナー、茶道や華道などを授業で学びます。芸術に触れることで感性を磨き、社会人としての良識が備わります。また、日本の伝統文化に親しむことは、グローバル社会で必要とされる、母国のアイデンティティ確立に結びついています。



主体的学習プログラム

日々の生活や学習計画を記録する手帳を活用し、自己管理能力を養成。自学自習のサイクルが、おのずと完成されていきます。勉強合宿や受験特訓講座など、意欲をサポートする多彩な講座も用意されています。中高6年間の真摯な取り組みにより確かな学力を養い、第一志望合格を実現する自信と実力を築き上げます。

夢と目標を実現させる 高校のコースと特色

Highlights of Wayo's Courses

将来像に合致した学びで進路を拓く3コース編制

和洋女子大学進学を前提とし大学教員による授業を行う「和洋コース」、難関大学合格を実現する「特進コース」、総合型選抜・学校推薦型選抜を目指す生徒にも適した「進学コース」と、3コースを設置。一人ひとりの希望をかなえる密度の高い教育プログラムを展開します。

和洋コース

和洋女子大学と接続した「7年制共育プログラム」で学ぶ

希望者は和洋女子大学へ全員進学可能。大学教員によるゼミ式授業や講義を実施し、和洋女子大学入学後の単位として認める共育プログラムを特長としています。

高校在学中に大学教員から学ぶ

1年次3学期からゼミ形式の授業がスタートし、2年次から大学の基礎的な科目を履修。探究型の学びでアカデミックスキルを養成し、将来に役立つ大学生レベルの思考力を身につけます。

全員が和洋女子大学へ進学可能

高校在学中に履修した講義は和洋女子大学の単位として認定され、大学入学後は海外留学やボランティア、インターンシップなどに取り組む余裕が生まれます。

※看護・栄養・こども発達等国家資格を目指す学部には一定の入学基準あり。

特進コース

実力を最大限に伸ばし、難関大学への合格を目指す

受験指導教員チームによる個別の受験対策で実力を伸ばし、難関大学への現役合格を目指します。受験特訓講座や

受験指導教員チームが徹底サポート

入試の傾向など大学受験を分析・研究する専任教員のチームが、一人ひとりの生徒に合った対策を立てます。模試の結果の推移などの情報を共有、個性を生かしながら志望大学合格を実現させます。

高度な演習で真の実力を養成

授業の中で、高度な演習に取り組みます。また、勉強宿舎や長期休みの講座で、授業では取り組みきれない応用問題にも多く触れ国公立、難関私立大学入試に求められる実戦力を養います。

進学コース

多様な入試制度を活用し希望の大学へ進学

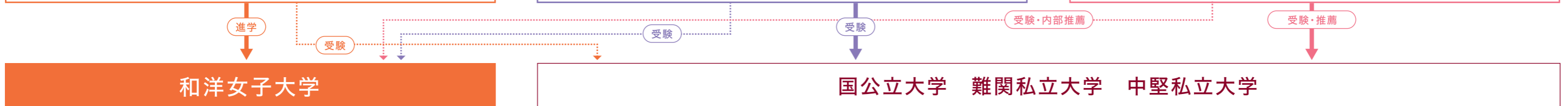
総合型選抜・学校推薦型選抜など、多様な受験に対応。部活動や海外留学など充実した高校生活を送りつつ、希望の大学への進学を実現させます。

高大連携の探究型学習で人間力アップ

高大連携により探究型の学びを実践。言語技術やプレゼン法、論文、ICTなどのアカデミックスキルを養い、総合型選抜・学校推薦型選抜を目指す生徒にも求められる問題解決能力を育てます。

多様な入試に対応する学習体制

大学受験を視野に入れ、高2から文理別のクラスで授業を展開します。それぞれの進路に合わせた選択科目、早朝・放課後の補習、校内の各種講座などで実力を伸ばし、進路選択の可能性を広げます。



英語4技能運用能力

社会で必要とされる英語4技能をバランスよく育成。学習内容を実生活や社会と関連づけて英語の運用能力を高め、繰り返し練習によって内容を定着させます。成果の表れとして英検2級取得者の割合が急増、高校1・2年生で英検準1級取得者も出ています。

受験サポート講座

各学年・教科の担当教員が、生徒の状況に応じて始業前や放課後に受験サポート講座を開講。一人ひとりに目を配り、早くから大学入試に備えます。高い志を持つ生徒のために、1日10時間の「勉強合宿」や「受験特訓講座」も実施されています。

2022年度例 ●英検対策講座

夏期講座 8月 Ⅰ期:5日間 Ⅱ期:5日間(1日90分×3コマ)
※複数受講可能

- 入試問題にチャレンジ(現代文)
- 英語 大学入試長文演習
- 理科・臨海実習
- 古典文法活用マスター～古典編～
- 英語 入試問題にチャレンジ
- 倫理受験対策
- 英文法入試対策
- 数学 入試対策
- 日本史
- 英検対策講座(2級・準2級・3級)
- 数学 整数の性質
- 社会科見学会

冬期講座 12月下旬 3日間(1日90分×3コマ)
※複数受講可能

- 古典文法総復習
- 数学B 漸化式
- 世界史 演習
- 英検 模擬分析
- 数学IA 場合の数・確率
- 共通テストにチャレンジ理科
- 英語 準動詞習熟プロジェクト
- 日本史 入試対策

※2022年度 例

高校生 Interview

— 和洋女子の魅力と高校で今のコースを選んだ理由を教えてください。

小学生のときに和洋国府台女子中学のオープンスクールに参加して、ダンス部の活動に憧れて入学を決めました。英語力を伸ばしたいと思っていたので、ほかにも外国人の先生から英会話の授業を受けることができる場所にも魅力を感じました。高校に進んでからは、「和洋コース」を選択しています。高校にいるうちから和洋女子大学の先生に学ぶことができ、大学の単位を一部取ることもできるからです。授業は自分で調べて発表する探究型の勉強が多く、大学で学ぶときや将来社会に出てから、きっと役に立つと感じています。クラスは皆とても仲がよく、授業や行事ではお互いに協力し合ったりして、役割を分担しながら物事を進めています。ダンス部の活動は、中高とずっと続けています。中学のときには部長を務めさせていただき、全国舞踊コンクールでジュニアアンサンブル部門1位を取ることができました。和洋女子大学への進学を前提とする「和洋コース」では、受験対策に時間を取られる心配がないので、高3秋のコンクールまで、部活に打ち込むことができるので全力で励むつもりです。和洋女子大学では英語コミュニケーション学科に進み、将来的には英語やダンス、音楽などを結びつけた仕事ができるようになれば、というのが今の目標です。

高校1年生 和洋コース





入学式

合唱コンクール

年間行事

学園祭や体育大会などは、生徒会や委員会が中心となって生徒が自主的に運営。協働しながら、自ら判断し行動する経験を重ねます。高校2年生の修学旅行は、自分の生き方を考え、将来像を描く貴重な機会でもあります。



中1 林間学校



体育大会



マラソン大会



学園祭



中3 遠足



中3 遠足



WAYO KONODAI Girls Uniform

和洋国府台女子中学校 制服紹介



盛夏服

夏服

冬服

盛夏服



コート



リュック



スラックス

伝統のセーラーのイメージは残しつつ、グレーのジャケットを採用。セーターなどのアイテムと合わせて、気温や生徒の個性に合わせた着こなしができるスタイルです。セーラーブラウスは長袖、半袖があり、透湿性に優れた素材で快適に過ごせます。ジャケットはウォッシュアップでご家庭で洗濯が可能です。またジャケットスタイルに合う、スラックスも用意。白または紺のポロシャツとチェックのスカートを組み合わせた涼しげな盛夏服も採用します。

部活動

Club Activities

約9割の生徒が部活動に参加。全国に知られる部も多く、熱心に活動しています。高校生と一緒に活動する中で、勉強との両立の仕方や礼儀など、先輩から後輩へと自然に受け継がれます。体力や技術の向上のみならず、マナーや人間関係を学びながら、大きく成長していきます。18時に完全下校とし、安全にも配慮しています。

- 運動部**
- 水泳 ●卓球 ●ダンス ●陸上 ●ソフトボール
 - ソフトテニス ●バスケットボール ●バドミントン
- 文化部**
- 吹奏楽 ●茶道 ●華道 ●箏 ●演劇 ●音楽
 - 美術 ●英語 ●書道 ●栄養 ●手芸・被服
 - 理科 ●数学 ●文芸部



©(株)スタッフ・テス

和洋Q&A

Questions and Answers

受験生の皆様から寄せられている質問にお答えします。

部活動や学校生活について

Q 中学生と高校生は一緒に活動しますか？

A 部活動によりますが、基本的に合同で活動しています。高校生は中学生の手本になるよう努力し、その姿や技術を間近で学ぶことは中学生にとって有意義だと考えています。

Q いじめについて何か対策を行っていますか？

A 個別アンケートを実施、また面談等で個々の話を聞くことはもちろん、日頃から相談しやすい雰囲気作りを心掛けています。対策委員会を設置し、校内共通のガイドラインも作っています。

Q 部活動の活動時間について教えてください。

A 下校時の生徒の安全、家族との時間や家庭学習の時間にも配慮し、原則として18時に完全下校としています。

Q 部活動の加入率はどのくらいですか？

A 学年によって異なりますが、中学生の加入率は約90%以上、高校生の加入率は約80%です。部活動の活動日によっては掛け持ちも可能です。

高校について

Q 併設中学から全員高校に進学できるのでしょうか？

A 原則、全員が進学できます。毎年数名転居等で外部高校に進学する生徒がいます。

Q 授業以外の学習面の取り組みはありますか？

A 受験特訓講座、夏期・冬期講座、リメディアル講座など、学内で万全のサポート体制をとっており、多くの生徒が参加しています。

Q 勉強が遅れてしまった生徒に補習はありますか？

A 教科によっては基準に満たない場合、追試や勉強会を行うことがあります。

Q 各種講座について費用を教えてください。

A 夏期・冬期講座は無料。受験特訓講座は年間、高1:英・数・国 各40,000円、高2:英・数・国・世・化は各40,000円、日本史は20,000円、高3:英・数・国・化・日は各30,000円、世界史は15,000円。(2023年度予定) ※変更する場合があります。

進学について

Q 指定校推薦について最近の状況を教えてください。

A 難関私立大学をはじめ140以上の大学に700以上の学校推薦型選抜枠があり、毎年およそ2割前後の生徒が活用しています。

Q 和洋女子大学への内部進学率はどのくらいですか？

A 年により多少の変化はありますが、卒業生の約2割が和洋女子大学に進学します。※和洋コースの卒業生は2020年新設のため含まれていません。

Q 和洋女子大学には全員進学できますか？

A 和洋コースの生徒は原則、全員進学できます。進学コースは、各学部で決められた評定基準を満たした場合、内部推薦という形で進学できます。また、他大学の一般受験に挑戦できる併願制度があります。ただし、専願の場合より推薦基準が高く設定されています。特進コースは、一般入試のみ進学可能です。

和洋の1日のスケジュール

8:30	8:50	12:40	13:20	15:10	18:00
登校	学活	読書	1限目～4限目	昼休み	5限目・6限目
					学活・清掃
					部活動
					下校



中学生 Interview

— 部活動での目標や、勉強との両立の仕方を教えてください。

ダンス部のある中学校に進みたいと思い、和洋国府台女子を選びました。秋の全国大会ではポジションをオーディションで決めます。目指すポジションにつくため努力を重ねました。部員は毎年入れ替わるため、顧問の先生から「このメンバーと一緒に踊れるのは、今回が最後だということを忘れないように」という言葉を聞き、とても気持ちが引き締まったのを覚えています。自分が出場する大会で、いつか全国優勝するのが目標です。高校は進学コースに進み、将来は音楽にかかわる仕事をするつもりです。成績を落とさないよう、練習後、家で毎日1時間は勉強するようにしています。女子校なので、部活の仲間やクラスメートとはなんでも気兼ねなく話すことができ、無理せず普段の自分のままでいられます。

中学2年生 ダンス部



施設紹介

江戸川を臨む緑美しい高台に広がる中・高・大連携キャンパス。講義や実習など様々な交流を行い、和洋ならではの学びを実現させています。最新設備が充実した校舎で、生徒はのびのびと学校生活を送っています。



体育館

アリーナや更衣室、シャワールーム、学生ホール(食堂)などを備えています。



礼法室「洗心」

茶道の授業を行う日本間。和室での作法や立ち居振る舞いを学びます。



普通教室

全教室にプロジェクターを設置。ICTツールを活用した授業を行っています。



温水プール

体育館の1階にあり、水泳授業や部活動に使われます。

和洋の原点

堀越千代は、明治の世にあって、日本の近代化のために、経済的・人間的に社会で自立できる女性の育成を目指して和洋を創設しました。それはまさに時代が求める女性教育を実践する和洋の原点であり、この理念は今日もなお、その輝きを失うことなく受け継がれています。

創業者 堀越 千代



国分グラウンド

テニスコート5面、ハンドボールコート1面、200mトラックなど完備しています。



学生ホール

体育館1階にある食堂。食事をしたり、軽食を買うことができます。



購買部

文房具はもちろん、飲み物やパンも販売。和洋グッズもあります。



図書館

約10万冊を所蔵する開架式の図書館。自習スペースとしても利用されています。

和洋国府台の125年

明治30年 1897 明治34年 1901 昭和3年 1928 昭和21年 1946 昭和23年 1948 昭和24年 1949 昭和25年 1950 昭和57年 1982 平成4年 1992 平成9年 1997 平成18年 2006 平成27年 2015 平成29年 2017 令和2年 2020 令和4年 2022 令和5年 2023

- 制服リニューアル
- 和洋学園創立125周年
- 和洋コース設立
- ファッションテクニクス科募集停止
- 中学校校舎を国府台キャンパスに移転
- 新体育館・プール竣工
- 被服科をファッションテクニクス科へ改称
- 和洋学園創立100周年
- 和洋国府台女子高等学校・同中学校と改称
- 中学校を市川市国分に移転
- 和洋女子大学附属国府台女子高等学校・同中学校と改称
- 和洋女子中学校設置
- 和洋女子専門学校が和洋女子大学に昇格
- 和洋女子高等学校設置
- 和洋女子専門学校を現地に移転
- 和洋女子専門学校に昇格
- 私立学校令制定により、9月27日、私立和洋裁縫女学院と改称
- 以後この日をもって創立記念日とする
- 堀越千代が和洋裁縫女学院を麹町区飯田町(現在の千代田区富士見)に創設

安心して学べる環境と、安全教育を徹底

防災

- 地震とその2次火災や、不審者侵入を想定した避難訓練を年3回実施
- 各クラスに避難経路図を掲示

設置機器

- 緊急地震速報受信装置
- 緊急一斉連絡
- 放射能測定器2台
- AED(心肺蘇生器)5台

セキュリティ

- 正門に守衛が常駐
- 防犯カメラを要所に設置
- 防犯モニターを職員室で常時監視
- 各教室に非常警報装置を設置



佐倉セミナーハウス

1997年5月に竣工。研修棟・宿泊棟・食堂などを備え、広大な敷地を有しています。

“和洋国府台女子卒業生対談”

入学してみると、
いろいろな個性のある人が
集まっていることが
わかりました。

することができました。
嶋村 経営学を学びたいということは早くから決まっていたのですが、実際に成蹊大学の経営学部の指定校推薦に応募すると決めたのは、高3の夏休みです。いろいろ悩んでいる間、先生方が応援してくださったのをとても心強く感じました。

— 大学生活や将来に向けての目標を教えてください。

熊谷 勉強だけでなく、旅行やアルバイトなどを思いっきり楽しみたいと思っています。中高の友達とも旅行に行きたいですね。
嶋村 私は大学で教職を取ろうと考えています。起業体験プログラムは本当にいいきっかけになったので、自分の生徒たちに同じような刺激を与えることができたら素敵ですね。
熊谷 和洋国府台女子では先生と生徒の距離がとても近く、先生方の何気ない言葉に励まされることがよくありました。
嶋村 私たちがやりたいことを常に応援してくれていて、安心して自分の夢を追い続けることができました。学校は私たちにとって、もう一つの故郷のようなところなんです。

上智大学1年
熊谷 莉子さん

嶋村 授業中の先生のお話が、また面白いんです。一見、雑談のように思えることが、実は深い人生アドバイスだったりしました。本当にいい先生方に恵まれていたと思います。

— 進路はどのように決めたか教えてください。

熊谷 教育と法律に興味があり、法学部に進んでスクールロイヤーを目指そうと考えました。いじめや不登校など、学校の抱える問題を法律の面からサポートする仕事です。
嶋村 私の場合、中3のときの起業体験プログラムが、進路を決めるきっかけになりました。東京証券取引所と協力し、事業計画を作成して発表した後、実際に株主に投資していただき、学園祭で全国各地のお弁当ふりかけを販売するところまで体験しました。そのときに会計を担当したことから、経営学に興味を持つようになったのです。
熊谷 私は高1のときから、上智大学への進学を意識していました。先生方に相談しながら指定校推薦と一般受験の両方を視野に入れ、夏休みに夏期講座で勉強を続けました。最終的に、公募推薦で上智大学の法学部に合格

高校生 Interview

— 学校生活の中で、特にどのようなことが充実していますか？

医療や看護の仕事に興味があり、中学から高校に進むときに、総合型選抜や学校推薦型選抜に向けた勉強ができる「進学コース」を選びました。興味のあるボランティア活動などに時間を使い、様々なことにチャレンジしたいと思ったからです。「進学コース」のクラスはとても明るい雰囲気、休み時間は皆でにぎやかにおしゃべりをしています。放課後に互いに勉強を教え合うこともあり、自分が得意な数学を他の人に教えてあげる一方、苦手科目は友達に教えてもらっています。部活は演劇部に入り、衣装を担当して、大会で衣装賞をいただいたこともあります。日本文化の授業があるのも、私が和洋に入った大きな理由の一つです。学校で身に付けた作法や日本の伝統の心を、将来の仕事で生かしていきたいと考えています。

高校1年生 進学コース



— 和洋国府台女子にはどのような思い出がありますか？

熊谷 幼い頃から水泳を習っていて、水泳を続けたくて和洋国府台女子に入りました。この水泳部はレベルが高く、関東大会や全国大会に毎年出場しています。私は中高と水泳部で活動し、中学のときにリレーで関東大会に出場しました。
嶋村 私は小学生のときにオープンキャンパスで和洋国府台女子を訪問し、校舎がきれいで先生方や在校生の方々のアットホームな雰囲気に魅力を感じて入学しました。以前から習っていたクラリネットを続けるため吹奏楽部に入り、県のコンクールに出場して銀賞をいただいたこともあります。
熊谷 入学してみると、いろいろな個性のある人が集まっていることがわかりました。いわゆるお嬢様学校というイメージとは、少々違ってきます。
嶋村 体育大会など、皆で力を合わせて取り組んでいます。熊谷さんとは中3、高1と同じクラスでした。学年全員が二手に分かれて闘う伝統の綱引きで一緒に勝ったときは、とてもうれしかったですね。
熊谷 中3のときには、京都と奈良に修学旅行に行きました。「あの仏像はスタイルがよかった」と、部屋で遅くまでお

しゃべりしていたりしました。それで先生に注意を受けてしまったのも、今ではよい思い出です。

嶋村 高校に入ってから、コロナ禍で様々なイベントが中止になりましたが、高2の修学旅行、テーブルマナー、高3では歌舞伎鑑賞や学園祭などいろいろな行事ができました。私たちに思い出を残そうと開催に尽力してくれた先生方には感謝しています。

— 高校のコースはどのように選びましたか？

熊谷 部活に参加する時間をしっかり確保したかったので、進学コースを選びました。指定校推薦を目指し、成績をキープできるよう、定期テストの前はとても真剣に勉強していました。
嶋村 私も進学コースで、集中して授業を聞き、内容をしっかり理解できるよう心掛けていました。さらに受験特訓講座で苦手な科目を補うことで、受験対策ができていたように思います。
熊谷 授業以外でも、先生方がいつでも気軽に質問に答えてくださいました。職員室前に質問を受け付けるための専用スペースがあり、私は朝や放課後によくそこに通っていました。

中3のときの
起業体験プログラムが、
進路を決める
きっかけになりました。

成蹊大学1年
嶋村 彩香さん

高校生 Interview

— 中学高校と、どのような目標を持って過ごしていますか？

中学から高校に進むとき、「せっかくならチャレンジしてみたい」と、中3のときに「ハイレベル講座」を受け、「特進コース」進学を決めました。クラスの人たちはやはり目標が高めですが、皆とても明るくて、体育大会などでは全力を出し切って盛り上がります。部活は、週に1回程度の活動がある茶道部を、中学のときから続けています。お作法を覚えるのは大変ですが、上手にできるととても達成感があります。授業は生物や化学が好きで、将来は化粧品開発などの仕事がしたいと考えています。英語がまだ弱いので、学校に紹介していただいた教材を使い、コツコツと勉強を続けることにしました。和洋は生徒が一人1台タブレットを持っていて、各教室に電子黒板があり、勉強に打ち込める環境が整っていると感じています。

高校1年生 特進コース

